

令和2年第4回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和2年3月12日（木） 於：特別会議室

II 開会時間： 18時00分
閉会時間： 19時10分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 野田 洋二
委員 大川 佳郎 委員 妹尾 恵美
委員 加藤 正枝

IV 欠席委員： 一

V 出席者氏名： 教育次長 藤原 敬一 教育総務課長 三ノ上 創
学校教育課長 住田 義広 就学前教育課長 牧野 真哉
社会教育課長 三宅 忍 教育サポートセンター事務長 妹尾 均
(書記) 山内 祐樹

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 協 議

(1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための緊急措置について

(石川教育長) まず現在の対応状況を説明する。
3月19日目途で国の方向性が示されると思うが、学校再開など、今後についてご意見をいただければと思う。

(各課長) 資料により説明。
放課後児童クラブの利用者は通常の半分強、就学前園は若干少

ない程度だ。

- (野田委員) 学習支援サイトとはどういうものか。
- (学校教育課長) 小1から中3までの学年別に様々な問題が用意されており、自分のレベルに合った問題に取り組むものだ。
- (野田委員) 就学前園と児童クラブは、市内に感染者が出ても一斉閉園はしないとある。臨時休業を検討するとする小中高の対応と矛盾していないか。
- (学校教育課長) 国の考え方としても、保護者の就労を保証する部分がある。また、小中高の児童生徒は保護者と関係なく動くため、感染した児童生徒が感染を拡大する可能性がある。就学前園と小中学校は考え方が異なる。
- (野田委員) 児童生徒の命を守るための臨時休業とあるが、医学的根拠のない措置だとする専門家もいる。
- (学校教育課長) 私は、今回の小中学校の臨時休業は疑問に思っている。
- (石川教育長) 「命を守るため」は、国の方針や発表を受けた表記だ。就学前園や児童クラブについても、ぜひ来てくださというものではなく、クラスタのリスクも伝えながらというところだ。小中高についても、感染者を発生させない医学的根拠や自信が持てれば開けることも可能と思うが、合理的に判断できる材料がなく休校としている。今後どうするかは、これからの話だ。
- (大川委員) 3月2日以降、各施設でどのような混乱が生じているか。
- (就学前教育課長) 就学前園は従来どおり開けているため、特に混乱はない。
- (社会教育課長) 放課後児童クラブは、最初の二日間は、いつから午前中の受入が始まるかという問合せが相当あった。受入が始まってからはトーンも下がってきている。
- (学校教育課長) 小中高も混乱は特にない。小学校の教職員に放課後児童クラブの手伝いをお願いしているが、不満を言うことなく対応してくれている。また、児童クラブに申込が殺到するのではという懸念があったが、一切無いようだ。
- (石川教育長) 児童クラブの手伝いを教職員がどう思うかが心配だったが、柔軟に対応いただけているのは良かった。
- (学校教育課長) 受入の手伝いも教師の業務とする文科省の通達が大きな後押しになっていると思う。
- (大川委員) 子どもを児童クラブに預けられる保護者とそうでない保護者の間にギャップが生じているのではないかと思ったが、それなりに納得して収まっているようだ。
- (石川教育長) 家にいる方が感染リスクは低い。リスクと仕事の都合とを勘案

して各家庭で判断しているようだ。

- (妹尾委員) 何人かの保護者に話を聞いたが、自宅待機している子どもは体力が低下しているようだ。運動場で遊んでいる児童クラブの子どもたちとの差を心配する声が多かった。
- (学校教育課長) また、岡山市では、子どもたちがイオンに集まっているそうだ。メルカに集まっているという話は聞かないが、少し気になる。
- (石川教育長) 玉野署もパトロールの回数を増やしてくれているが、子どもを見かけないそうだ。
- (学校教育課長) 図書館にも子どもがいないわけではないが、密集してといった状況にはない。
- (石川教育長) 自宅待機は自宅に籠もれという意味ではなく、近くの公園で運動する程度なら自宅待機に含まれる、という通知も出している。
- (大川委員) 時間差を付けるなどして、登校日を設定してもよいと思う。学校によって工夫の仕方はあるのかなと思う。
- (学校教育課長) 校庭は開放していないか。
- (石川教育長) 閉め出すわけではないが、臨時休業の趣旨を踏まえると、自由に来て使ってよいというのはいかがかと思う。
- (妹尾委員) 登校日を使って、限られた人数で使う工夫はあり得る。
- (妹尾委員) 学校から電話があると、子どもも安心したり、勉強のスイッチが入ったりする。家庭訪問までは求めないが、先生の声を聞く機会を増やしてほしいという要望はあった。
- (学校教育課長) また、保護者に対して「何か困りごとはないか」といった聞き取りをする機会があってもよいと思うが、何か予定等あるか。
- (妹尾委員) 学校によって差があることは否めない。
- (加藤委員) 毎日電話している学校もあれば、週一で家庭訪問している中学校もある。聞き取りについても、一斉メールなどでしている学校と、そうでない学校がある。
- (学校教育課長) 各校には、細かな対応と戦略的な情報発信をするよう伝えたところだ。
- (妹尾委員) 先生に話を聞いてもらえるだけで安心すると思う。
- (加藤委員) 放課後児童クラブは、元々の会員以外に何人利用しているか。
- (学校教育課長) 社会福祉協議会と話をした感触では、昨日時点で2名ほどだ。
- (石川教育長) 玉野市の児童クラブは、岡山市などに比べて幅広く登録を受け付けており、登録していない人は元々必要性を強くは感じていないのだろう。
- (加藤委員) 先ほど話題になった校庭開放だが、クラスや学年で分けるなどして、子どもたちが運動できる環境を作ってほしい。
- (妹尾委員) また、家庭学習の課題を配布しているとのことだが、課題をこ

なす率に個人間の差が大きくあるように思う。この差が後々さらに大きなものになると思うので、先生には負担だが、課題をこなせない子のフォローをお願いしたい。

(石川教育長)

登校日のプログラムで工夫できるかも知れない。

(大川委員)

大阪では小中学生が近所の公園で遊ぶため、普段利用している幼児や高齢者から、危ないと学校に苦情が来ているようだ。玉野では苦情はなさそうだが、こういった面からも校庭の開放は必要になってくると思う。

(石川教育長)

公園に溜まっているという話は聞かない。

(野田委員)

入試のトラブル等はなかったか。

(学校教育課長)

無事実施できた。

商工高校の職員に感染者が出た場合に備えて、備南高校で試験をする準備はしていたが、幸い大事には至らなかった。

(妹尾委員)

就学前園で消毒用のアルコールは足りているか。

(就学前教育課長)

優先的に回してもらえており、現時点で不足はない。マスクなども保育園等に国が配布する動きがある。

(石川教育長)

次に、今後についてご意見を伺いたい。

(野田委員)

私は来週くらいから学校を再開してほしいと思う。

子どもが絶対に感染しない状況を待っていては、いつまでも休業のままだ。

現時点で感染者がいないのであれば、来週からの10日間くらいで、残った授業を全部やるべきと思う。特に6年生は、未修の部分を中学校で振り返ってくれない。

(加藤委員)

うちの会社では、トラックの運転手に検温とアルコール消毒を義務づけている。

現時点で市内に患者はいないかも知れないが、外から入ってくる要素はある。3月は年間の授業をほぼ終了したタイミングでもあり、いつ学校がクラスタ化するかも知れない現状においては、リスクを冒してほしいくない。

(大川委員)

県内に感染者が確認されていない状況で、私個人としては、どこまで恐れるかという部分もあるが、万が一の場合に後悔しないリスク管理をするのが公の立場ではないかと思う。

(妹尾委員)

現在の生活に慣れた今となっては、また変えるのかと感じる保護者もいると思う。学校を再開するにしても、何かやり方があるのではと思う。

(野田委員)

運転手が持ち込むリスクにまで言及したら、何もできなくなる

と思う。

- (石川教育長) 客観的に見て、子どもが第一感染者になるリスクは低いかも知れないが、親は仕事上行動範囲が広がったり、外から来た人と会ったりと、リスクはあり得ると思う。
親から子に感染して、症状の軽い子どもが学校に持ち込んでクラスター化して、家に持ち帰って、親にうつってという展開が懸念される形だと思う。
検査数が多いという話もあるが、イタリアや韓国のような感染拡大に至っていない一因として、学校での広がりを止めていることがあるかも知れない。
県内に感染者がおらず、各市の判断に委ねるとなってきたら再開のタイミングかと思うが、現段階では、国の通達も、県の通達も休校を前提としており、いまの時点で子ども全員を動かすのはリスクが大きいのではないかと。
- (野田委員) その考え方でいくと、始業式のタイミングでも再開できないのではないかと。
- (石川教育長) いま問題なのは、感染パターンや治療法が確立されていないことだ。防ぐ方法や対処法が分かれば、状況は変わると思う。
- (野田委員) 給食の業者は非常に困っていると聞く。
- (学校教育課長) 給食センターでは、長期休業中に行う総点検や大掃除、食器食缶の修繕に入っており、再開に1週間程度はかかるそうだ。
- (教育総務課長) 給食費も精算し、3月分は徴収していない。
- (野田委員) 家庭での食事を心配するような子どもはいるか。
- (学校教育課長) 懸念される子どもはいるので、電話連絡や家庭訪問を頻繁にするようお願いしている。福祉の担当課も、心配な家庭には訪問してくれているようだ。
- (石川教育長) 国としても、日を決めて一斉再開を通達することは難しいと思われる。県とも相談しながらになるが、4月以降、決断しなければならない場面が来ると思う。
- (学校教育課長) 県教委も困っているようだ。
まずは3月19日の発表を待って、24日の教育委員会で検討いただく流れかと思う。
- (大川委員) 真庭市など、16日から再開する自治体の事情や経緯が分かれば参考になると思う。
- (石川教育長) 野田委員から授業の進捗を心配する発言があったが、外での遊び場の話も含め、現状では、各校で登校日を工夫しながらの対

応は可能かと思う

また、ご要望のあった電話連絡によるフォローなどの対応をしていただきながら、3月24日、あるいは4月3日の教育委員会で、学校再開の判断をすることになるかと思う。

次回、教育委員会は令和2年3月24日（火）15：30から第1委員会室で開催するので参集願います。以上で、第4回教育委員会を閉会します。

会議録調製者	書記	山内 祐樹
会議録署名委員	教育長	石川 雅史
〃	教育長職務代理者	野田 洋二